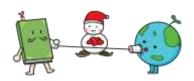
学習課題(小学校3年生)



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

<勉強すること>

◆「こそあど言葉を使いこなそう」(教科書 88 ページ)を学習します。ここでは、何かを指ししめす言葉のはたらきについて学びます。

「この・その・あの・どの」や「これ・それ・あれ・どれ」などの言葉を まとめて、**こそあど言葉**といいます。

- ②教科書 89 ページの 1 に取り組みます。ノートや取組シートに問題文を書きます。こそあど言葉に線を引き、それが何を指しているのかを書きましょう。
- ◆90ページ「引用するとき」を学習します。

・私は、おばあさんからって、出かけた。 たしはそれをかぶたしはそれをかぶたしはそれをかぶ

他の人の言葉を、自分の文章や話の中で使うことを、引用といいます。

- ①引用する時には、きまりがあります。教科書 90 ページの①~③を読み、ノートや取組シートに引用のきまりを書きうつしましょう。
- ②91ページを読んで、「正しく引用するときの書きとめ方」と、「人から聞いたことを引用するときの書き方」について、大事だと思ったことをノートや取組シートにまとめましょう。
- ③91ページ下のだん8行目~11行目のかだいに取り組みます。下の例をさんこうに、ノートや取組シートにしょうかい文を書きましょう。

引用の仕方の例

「こまを楽しむ」を読んで、わたしは、 (えらんだこまの名前) にきょうみをもちました。 (えらんだこまの名前) の遊び方は、「 (遊び方を書きぬく)」です。 〈使った本〉 安藤正樹「こまを楽しむ」、 ロページ、光村図書、国語三上、2020 年

- ◆111ページで学習するかん字(植~都まで)をノートに練習します。
 - 例:①156ページを見て、書きじゅんを指で書いてみましょう。
 - ②読み方・使い方を声に出して、言ってみましょう。
 - ③出てきた漢字をつかって、文を作りましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

・こそあど言葉を使い分ける際には、自分に近いか、相手に近いかなど、その物との 距離で使う言葉が決まることを理解することが大切です。ご家庭にある物などを使 って、「話し手に近いから『これ』だね。」などやりとりをしてみると効果的です。